

## 五月皐月は萌黄色

奥村 俊三

花ひらく四月のあとには新緑の五月が訪れる。

いつからか花もいいが、心地よい緑陰をつくり空に向かって伸びる木々の、若葉のエネルギーが眩しい。平家物語に登場する平敦盛や那須与一は、いずれも萌黄匂の鎧をまとった。溶けあうような優美さをたたえた階調は目を惹いたに違いない。際立って目立ち、ひとときわ優れている意味の「けやけき」から「けやき」という名称は生まれたという。

新緑けやきの葉もよくみると多彩で楽しい。



写真は小牧市桃花台